

保護者のみなさま

## 学校評価アンケートの結果について

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

昨年12月にご協力いただいた学校評価アンケートの実施におきましては、多くのご回答をいただき、心より感謝申し上げます。今回のアンケートの回答率は68%となりました。今後はさらに多くの保護者のみなさまにご協力いただけるよう工夫してまいります。

さて、この度、結果がまとまりましたので、ご報告いたします。この結果をこれからの学校教育活動に生かしていきたいと考えています。なお、この結果をもとに、1月21日の学校運営協議会（コミュニティスクール）で委員の方からもご意見をいただいております。

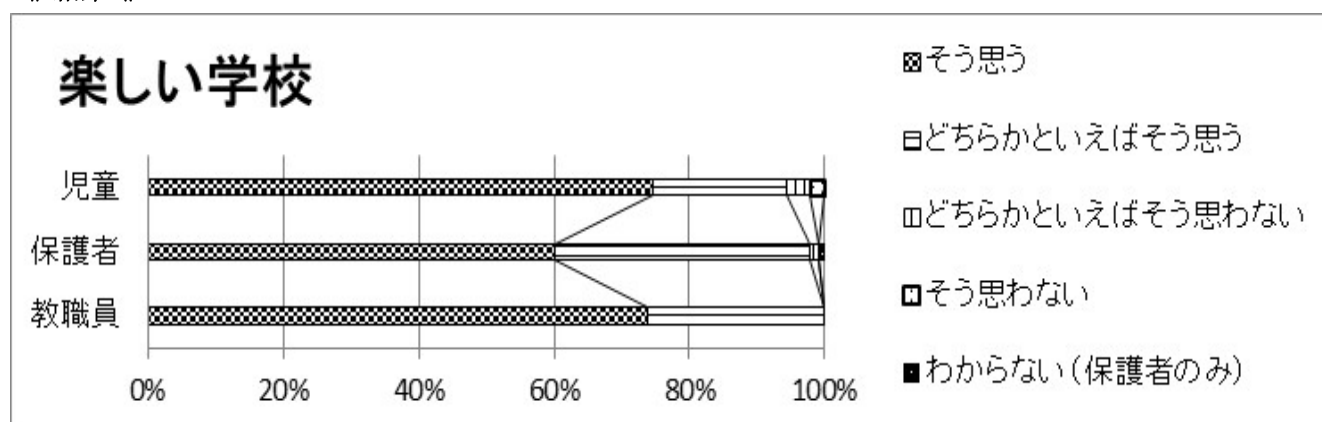
### 【学校全体として】

#### 《 設問 1 》

子供達は、学校生活を楽しんでいると思いますか。

（児童：学校は楽しいですか。）

#### 《 結果 》



#### 《 結果について 》

児童では95%、保護者では98%が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答していました。保護者においては、すべてのアンケート項目の中で一番高い評価をいただき教職員一同嬉しく思います。児童からは、「きゅうしょくがおいしい。」「べんきょうがたのしいところ。」「たくさん笑顔や挨拶があるところ。」等の意見があり、保護者の方からのご意見でも片平小のよさの中で、「子供達が明るくとても元気。」「子供達の顔から楽しさが伝わってくる。」などが挙げられていました。一方で、児童では5%強、保護者は1.4%が「どちらかというそう思わない。」「そう思わない。」と答えていました。引き続き、個に応じた支援を丁寧に行っていくとともに、児童にとって学校が楽しい場所となるよう、学校全体として取り組んでいきたいと思っております。

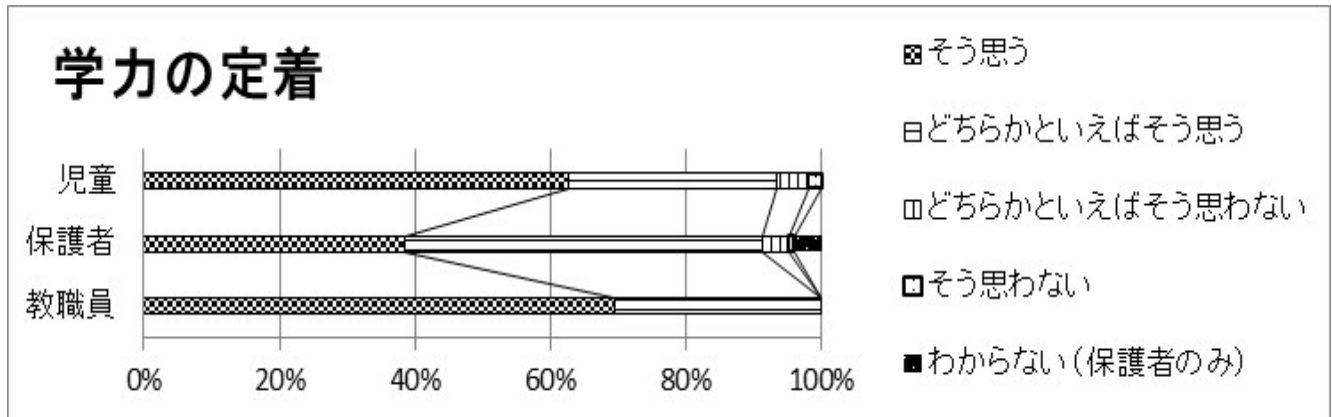
## 【確かな学力の育成】

### 《 設問 2 》

学校では、一人一人の基礎・基本の定着をめざし、少人数授業、個別支援（入り込み・取り出し）指導、GIGA 端末の効果的な活用など工夫して取り組んでいます。こうした取り組みは、子供達の基礎学力の定着につながっていると思いますか。

（児童：学校の勉強で、「わかった」「できた」「またやりたい」と思うことがありますか。）

### 《 結果 》



### 《 結果について 》

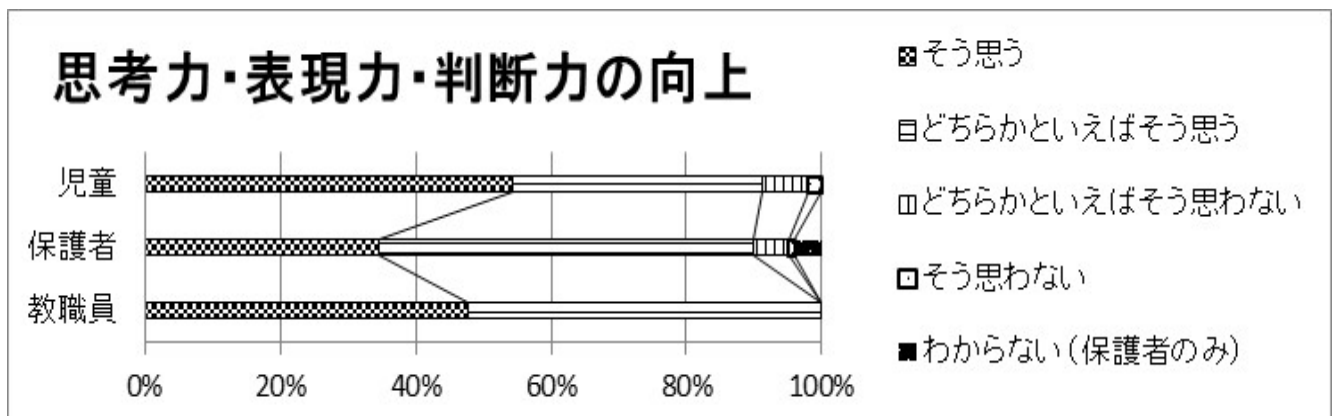
児童・保護者ともにほぼ9割が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しています。児童からは、「ペンキょうがたのしい。」「先生がやさしくおしえてくれる。」「先生が面白く楽しく授業してくれる。」等、数多くの前向きな回答が挙げられていました。一方、「そう思わない」「どちらかというそう思わない」と回答した児童も7%弱おりました。そのように答えている児童を気にかけて、今後も実態を踏まえて見守っていくとともに、日々の授業・教材研究を通して、子供達が学びを実感できる「わかる授業」を目指していきます。また、「わからない」と回答した保護者が昨年度の6.6%から4.1%となりました。引き続き、個人面談、授業参観、ホームページ、各種お便り等にて、学校の教育方針に基づいた子供達の学力面の様子を伝えていくとともに、日々の学習活動での取り組みを保護者の方々にお伝えする機会の工夫をさらに図っていきたいと思います。

### 《 設問 3 》

子供達はいろいろな方法で考えたり問題を解いたりする力や話を聞いたり分かりやすく話したりする力（表現力・思考力・判断力等）が育ってきていると思いますか。

（児童：いろいろな問題を考える力や話をしっかり聞いたり、分かりやすく話したりする力がついていますか。）

### 《 結果 》



## 《 結果について 》

保護者、教職員の結果は、昨年度と同様に、9割以上が「そう思う」「どちらかというと思う」と答えています。ただ、児童に関しては、昨年度と比べて、「そう思わない」「どちらかというと思わない」との回答が、7.0%から8.7%と1.7%増加しています。保護者では、「わからない」との回答が4%強と昨年度より少なくなっていますが、「そう思わない」「どちらかというと思わない」との回答は、昨年度とほぼ変わらず1割程度となっています。引き続き、知識・技能を活用しながら思考力・表現力・判断力の向上につながる授業づくりを目指していきたいと思います。

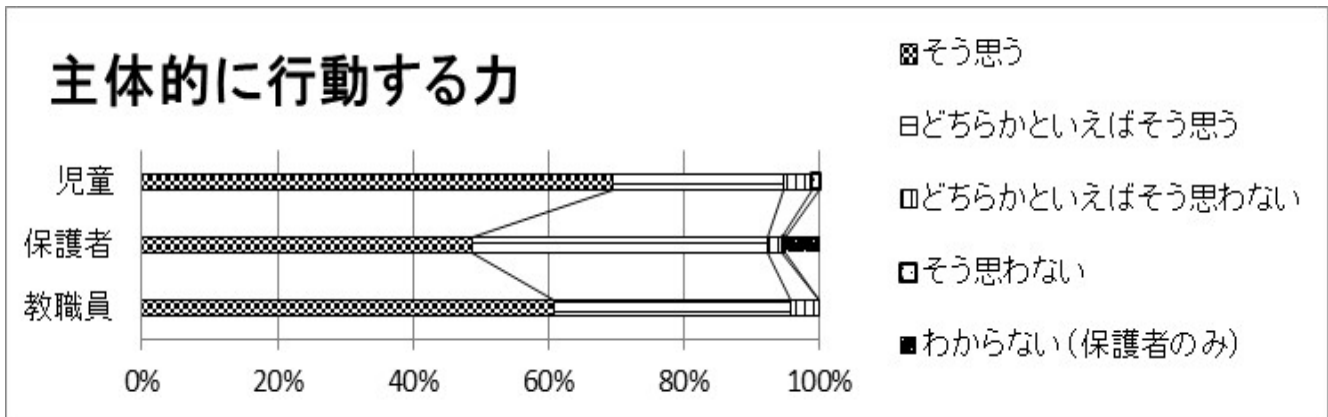
## 【子供と共に築く学校】

### 《 設問 4 》

学校では、係活動・実行委員活動・委員会活動等、一人一人が活躍できる場をつくることを心がけています。子供達は、活動を通して、主体的に行動する力が育ってきていると思いますか。

(児童：係活動、実行委員活動、委員会活動などで、進んで行動していますか。)

### 《 結果 》



## 《 結果について 》

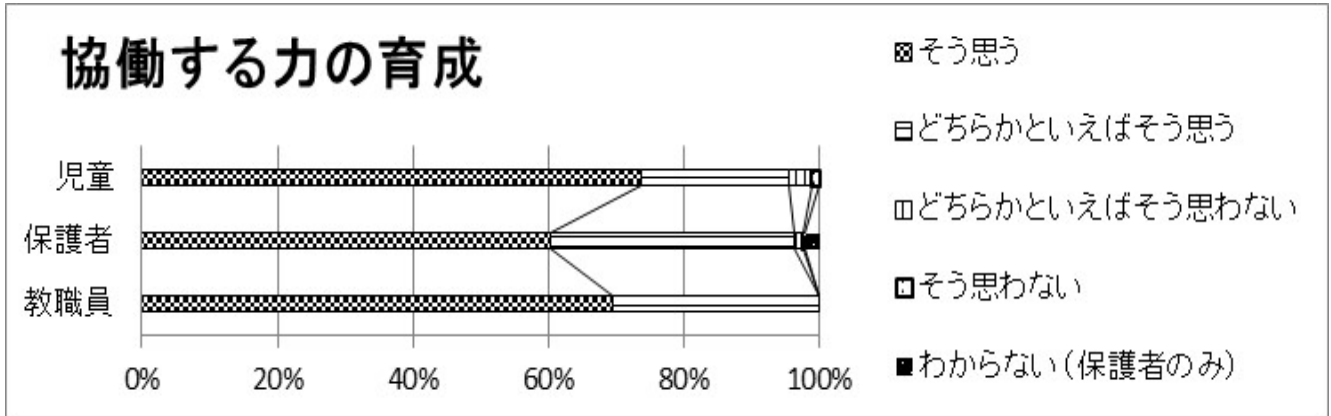
本校教育目標のキーワードの一つである「主体性」に関わる内容となります。児童・保護者とも9割以上が「そう思う」「どちらかというと思う」と回答していました。特に、児童は95%以上が「そう思う」「どちらかというと思う」と答えています。また、記述の回答の中でも「自分から…」「進んで…」等、主体性に関する意見が多数挙げられていました。また、保護者の方からも「子供を主体としてくださる学校。記念イベントや行事など、子供達がとても前向きに取り組む…。」「子供達が自主的に考えて物事に取り組む事を重視して指導してくれる。」「主体的に取り組むことを大切にしている所が良い所だと思います。」「一人ひとりが協力したり主体的に行動をすること。」等、児童の姿や学校における児童の主体性を育む取り組み(場・機会)への評価を多くいただきました。40周年関連の取り組みが、子供達の成長につながったと感じます。今後も、子供達一人一人が主体性をもって生き生きと学校生活を送ることができるよう見守っていきたいと思います。

### 《 設問 5 》

学校では、同学年の友達や他学年との多様な関わりの機会を設定し、協力することのよさを実感できるよう取り組んでいます。こうした取り組みは、子供達の協働する力を育むことにつながっていると思いますか。

(児童：係・実行委員・委員会等の活動をいろいろな友達と協力しながら行っていますか。)

《 結果 》



《 結果について 》

本校教育目標のキーワードの一つである「協働」に関わる内容となります。上記《設問4》同様に児童及び保護者の95%以上が「そう思う」「どちらかというところ」と評価しており、昨年度と同様に児童・保護者とも高い評価となっていました。記述の回答にも、「おねえさんとおにいさんがやさしくおしえたりたすけてくれるところ。」「みんなが助け合って協力もし合ってそしてかげで見守ってくれる大人がいるから安心できる。」「片平小学校のことを良くしようと思ってみんなで協力して学校を作り上げている。」(以上、児童)、「他の学年とも交流を持ち、上の学年が下の学年を面倒見たり、助けてあげたり、また下の学年もそういうことを経験する事で、感謝の気持ちも生まれ、人との関係性や協調性ができ、とても良いと思います。」「委員会活動やクラスごとの係活動が活発な印象が強く、自分の仕事に責任を持って取り組むことの大切さや、仲間と協力して物事を作り上げていくことを学べる機会も豊富であると思います。」「目標に向かってみんなで協力して一生懸命に頑張っているところが素敵だと思います。」(以上、保護者)等、児童・保護者とも「協働」に関わる児童の様子や学校の取り組みへの意見が昨年度に引き続き多く寄せられていました。今後も、学校全体の取り組みとして、子供一人一人が活躍し、共に力を合わせて活動できる場や機会を意図的・計画的につくっていく中で、「片平小のよさ」である子供達の「協働する力」を育んでいきたいと思ひます。

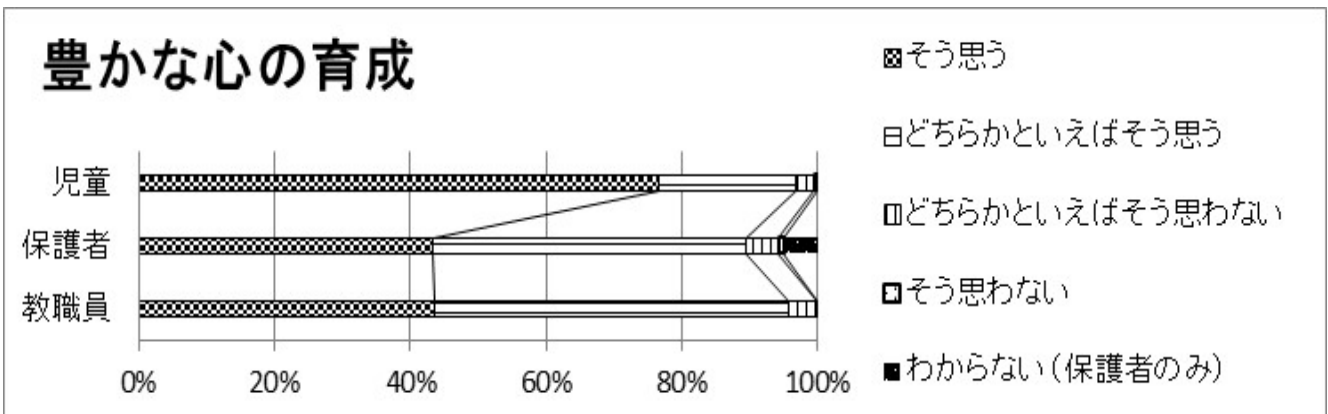
【豊かな心の育成】

《 設問 6 》

学校では、いじめや仲間外れのない温かな学校を実現するために、命を大切に、人を思いやる心を育てる指導を心がけています。子供達は自分や相手を大切に思う心が育っていると思ひますか。

(児童：自分や相手のことを大切に思い、なかよく助け合おうとしていますか。)

《 結果 》



## 《 結果について 》

昨年度と同様に95%以上の児童が「そう思う」と評価しており、今年度は97%強が肯定的な評価をしていました。アンケート内容が低学年（ともだちにやさしいことばをかけたり、こまっているときはたすけたりしていませんか。）と高学年（自分や相手のことを大切に思い、なかよく助け合おうとしていますか。）とで異なることもありますが、特に高学年では、98%以上（高学年においてはアンケート項目の中で、最も高い評価）が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答していることから、ほとんどの児童が同項目の内容を意識して日々取り組んでいることがうかがえ嬉しく思います。児童からの意見では、学年問わず、「みんながやさしい。」「たすけてくれる。」「みんな仲良し」等、本項目に関連する意見がとても数多く挙げられていました。また同様に、保護者の方からも、「学年分け隔てなく仲良く交流があるところ。」「他の人を思いやれる優しい心を養ってくれる小学校だと思います。」等のご意見が数多く寄せられていました。引き続き、この片平小児童のよさを大切にしつつ、学校全体で子供達に関わる情報を共有しながら、子供一人一人を見守り、道徳や共生共育プログラムをはじめ、日々の様々な教育活動を通して子供達の心を育んでいきたいと思ひます。

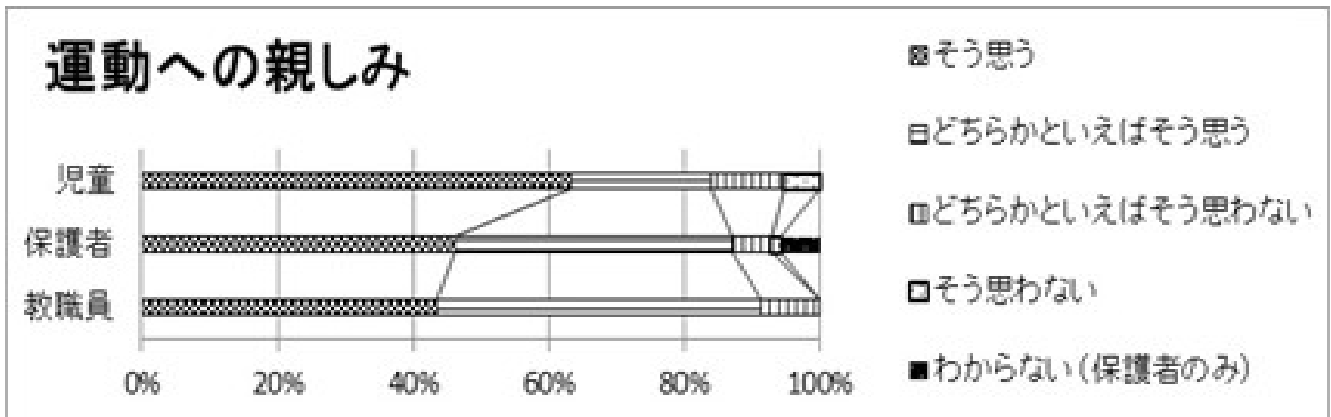
## 【健やかな心身の育成】

### 《 設問 7 》

子供達は体育科の学習や休み時間、校庭開放などを通して、運動を楽しもうという気持ちが育っていると思ひますか。

（児童：体育の授業、休み時間、校庭開放などを通して、進んで体を動かすことができますか。）

### 《 結果 》



### 《 結果について 》

昨年度と同様に、およそ1～2割の児童と保護者が「そう思わない」と評価しています。保護者では、昨年度より肯定的な評価が増えているとともに、「分からない。」との回答が昨年度の8.6%から5.8%となっています。保護者の方からのご意見にも「校庭開放を再開していただきありがとうございます。」等の回答があり、アフターコロナによる活動機会の増加や放課後の校庭開放の全面的な再開等によるプラスの影響も出てきているのではないかと思います。一方、児童の評価では、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した割合が上昇し、昨年度の11.0%から16.1%となり、アンケート項目の中で最も評価が低くなっています。今後、可能な範囲で体育科の授業のみならず、校庭での外遊びを勧め、休み時間の活用の仕方や朝時間等を利用した日常のかつ短時間の運動時間（キラキラタイム）の確保、スポーツ委員会主催の活動等も含め、様々な活動の工夫を取り入れながら「子供が進んで体を動かす」取り組みを進めていきたいと思ひます。

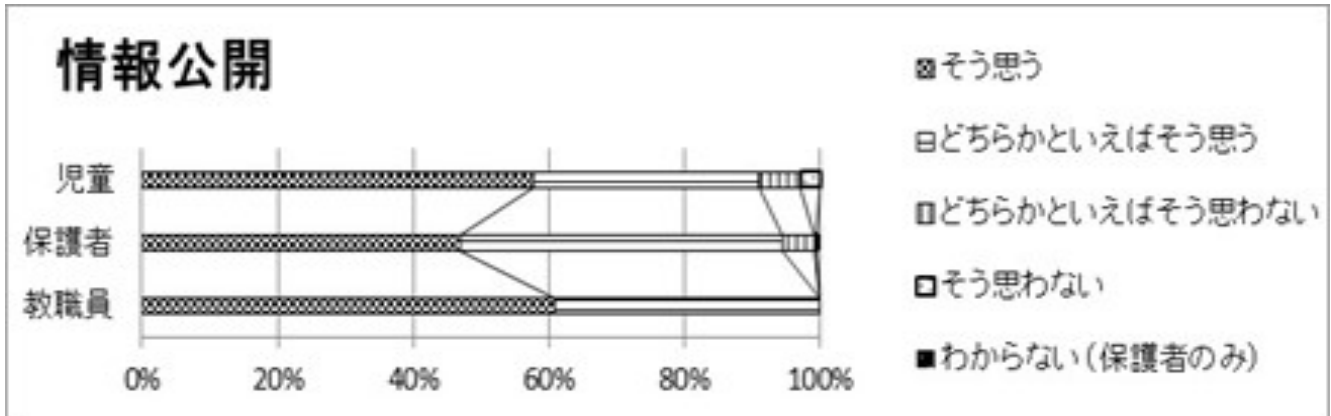
## 【開かれた学校づくり】

### 《 設問 8 》

学校説明会（紙面）、個人面談、授業参観、ホームページ、各種おたより等で教育方針や子供達の様子が伝わっていますか。

（児童：学校の手紙をおうちの人にきちんと渡したり学校のお話をおうちの人にしたりしていますか。）

### 《 結果 》



### 《 結果について 》

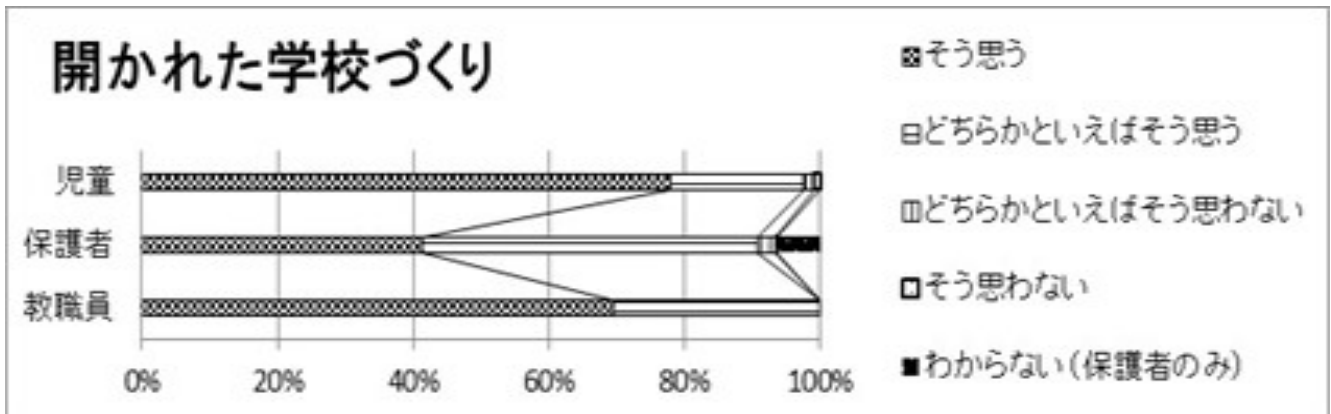
昨年度と同様、児童・保護者とも9割以上が「そう思う」と回答していました。特に、保護者は95%が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と評価しており、学校説明会、個人面談、授業参観、ホームページ、また、学級・学年・学校だより等を通じた情報公開（日頃の教育活動や子供の様子）への取り組みを前向きにとらえていただき有難く思います。保護者の方の意見からは、「ホームページもよく更新されており、ミマモルメでの保護者への情報共有も早いと助かっています。」「ミマモルメやGoogleなどで効率的。」「風通しがいいところ。学校内と児童、家庭との情報連携がなされていて先生方と家庭と一緒に学校生活をサポート出来ていると思います。」等、このアンケート項目に関連する肯定的な意見が数多く寄せられていました。引き続き、学校の教育方針や子供達の様子が保護者の皆様に伝わるよう努めていきたいと思ひます。

### 《 設問 9 》

学校、保護者、地域の方々、子供達が協力し合い、思いを伝え合いながら学校づくり（教育活動）を行っていると思ひますか。

（児童：片平小学校は、学校、地域、みんなが協力し合いながら作り上げている学校だと思ひますか。）

### 《 結果 》



## 《 結果について 》

昨年度と同様に児童・保護者とも9割が「そう思う」と評価しています。児童に関しては、98%以上が肯定的な評価となっており、アンケート項目の中で最も高くなっていました。今年度は、創立40周年の記念行事の機会を通して、改めて、児童にとって、児童・学校・地域が協力し合って作り上げている「地域の中の片平小」という意識を高くもっていることがわかりました。児童の記述にも、「地域の人達も片平小学校を盛り上げる取り組みなどをしてくれているからこそ、今の楽しい学校生活ができています。」「片平小学校のことを良くしようと思ってみんなが協力して学校を作り上げている。」等が「片平小のよさ」として挙げられていました。また、保護者の方にも「先生方やPTAの方、地域の方など皆で子供達を見守ってくださっていて、子供達ものびのびと学習や生活をしている感じがします。」「地域の方との関わりを大事にしている、それぞれの良さや繋がりを子供達が理解しているところが素晴らしいと感じました。」等、多くの肯定的なご意見をいただきました。創立40周年の行事も含め、学校・児童・保護者・地域が一体となって学校を作り上げていこうという思いがより一層深まってきたことがうかがえました。今後も地域の皆様のご協力をいただきながら、地域に根差したよりよい片平小となるよう取り組んでいきたいと思えます。

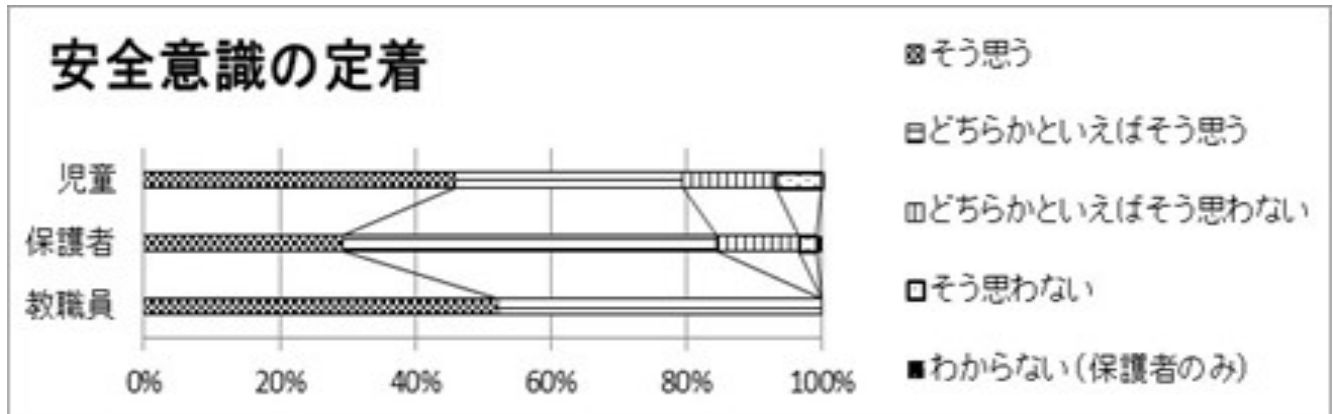
## 【安全・安心な学校づくり】

### 《 設問 10 》

ご家庭では、災害時の過ごし方や登下校時の事故等の未然防止について話題にしていますか。

(児童：災害が起こった時の過ごし方や登下校の時のマナーについて家の人と話しをしていますか。)

### 《 結果 》



## 《 結果について 》

児童に関しては、肯定的な評価が少し増えていましたが、およそ2割の児童と保護者が、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答していました。一方、保護者では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答が、昨年度の81.3%から84.4%と3.1%上がっていました。今後も、避難訓練や交通安全教室、下校指導、全校朝会での話のみならず、日常的な指導を通して、子供達の意識向上を図っていききたいと思います。また、今年度も多くの方々に子供達の登下校を見守っていただきました。保護者の皆様、地域の皆様に感謝申し上げます。引き続きご家庭でも災害時の対処の仕方、交通ルール、登下校の仕方等についてお子様とお話しする機会を設けていただけると幸いです。ご協力をよろしくお願いいたします。

## おわりに

お忙しい中たくさんの保護者にご回答いただき、ありがとうございました。

「創立40周年を子ども達の学びと成長につなげよう」とスタートした令和6年度でした。今回のアンケートでは、多くの項目で児童や保護者、そして教職員にも肯定的に受けとめていただき、また、たくさんの建設的なご意見やあたたかい励ましも頂戴し、明日への糧にしたいと思います。

児童会と連携しながら進めた運動会やさまざまな周年行事では、子ども達の「主体性」が発揮できました。また11月16日の40周年式典へ向けて、各学年が学習と関連させながら地域との絆を深めたり表現力を磨いたりしました。練習の中で「協働」する楽しさや達成感を味わうことができたように思います。アンケートでもこれらの項目での高評価は大変うれしく思いました。

一方、「学力の定着」「思考力・表現力・判断力の向上」「運動への親しみ」では、日々の授業や生活の中で困り感を抱えている児童への指導や支援をより手厚くしていく必要があると考えます。現在、少人数授業、個別支援、教育サポーター支援などを行っているところですが、より良い支援のためにボランティア等で、保護者や地域の方々にますますご来校いただく機会を増やしたいと思います。「運動への親しみ」については、校庭開放が定着し、1月からはスポーツ委員会がドッジボール大会や鬼ごっこ大会などイベントを開催し、皆が外へ出る機会を増やしています。来年度の結果に反映されるとよいな、と思います。

アンケート結果やご意見を真摯に受けとめ、よりよい学校作りに努めて参ります。今後とも片平小学校をどうぞよろしく願いいたします。

校長 紀 裕子